

国際ロータリー第2730地区

高鍋ロータリークラブ 会報



会長 坂田 師通
副会長 青木 善明
幹事 橋口 清和
例会日 毎週木曜日 12:30~13:30
例会場 ホテル泉屋 2F
事務所 宮崎県児湯郡高鍋町大字北高鍋 1368-4
ホテル泉屋内 TEL/FAX 0983-21-1636

第2069回 令和元年5月30日プログラム

- | | |
|------------------------|-----------|
| 1. 点 鐘 | 7. BOX披露 |
| 2. ロータリーソング
手に手つないで | 8. 委員会報告 |
| 3. ビジター・ゲスト紹介 | 9. 次週例会案内 |
| 4. 会長の時間 | 10. 点 鐘 |
| 5. 幹事報告 | 11. |
| 6. 出席報告 | 12. |

高鍋ロータリークラブテーマ

『ロータリーの心を地域の人に届けよう』

第2730地区ガバナー 川原 篤雄
中部分区ガバナー補佐 安田 秀一

RI テーマ 『インスピレーションになろう』

地区テーマ 『プラスワンの考動を』

5月の月間テーマ

青少年奉仕月間

本日の例会案内

- *新会員オリエンテーション 17:30~
- *夜間例会 18:30~
- *歓迎会&炉辺会合 例会終了後~21:00

次週例会案内; 6月6日 (2070回)

- *月初めのセレモニー・米山ランチBOX
- *雑誌紹介 *会員卓話—桑野倫夫君
- *国際大会報告—藤本範行君

第2068回 例会内容 (5/23)

■会長の時間

会長 坂田 師通 君

伝教大師、最澄は唐から天台宗を持ち帰り、比叡山を学生の修行の場として“十二年間は山を降りず、止観（顕教）と遮那（密教）の両部門を修行せよ”と決めました。しかし、最澄がもたらした密教は、唐の都長安で学んだものではなく、傍流のものでした。そのため、最澄が帰国した翌年、長安で本格的な密教を学んでいた空海が戻って来ると、空海に最澄は密教伝道者の地位を奪われることとなります。それでも最澄は、辞を低くして空海に教えを乞いました。今から考えると高野山に籠り、悠々と独特の仏教世界を築いた空海に比べ、奈良の旧仏教から攻撃され、論争に追われた最澄の一生は気の毒なものであったと思いますが、私は最澄の空海に教えを乞うたその謙虚さは、大変すばらしいものであったと常々思います。

最澄と空海の関係は、ある意味キリスト教における洗者ヨハネとイエス・キリストの関係に似ているように思います。洗者ヨハネはイエスの親戚でイエスより半年早く生まれた人物であります。彼は救い主であるイエスが



宣教活動を始めるに先立って、ヨルダン川で人々に悔い改めの洗礼を授けておりました。彼のもとには多くの人々が集まり、悔い改めの洗礼を受けていました。そして、彼と行動を共にする弟子たちも日毎に増えていきました。しかし、イエスが宣教活動を開始すると、多くの弟子たちは彼のもとを去り、イエスのもとへ行ってしまうました。ヨハネに忠実な弟子たちは、このことが不満で、これをヨハネに訴えました。しかしヨハネは「花婿の友人は、花婿のそばに立って耳を傾け、花婿の声が聞こえると大いに喜ぶ。だから私は喜びで満たされている」と答えたのでした。キリスト教では、洗者ヨハネの存在はある意味イエス・キリストの露払いのような役割とされていますが、ヘロデ王から首を切られる悲劇も含めて考えてみると、後からやって来た優秀なイエスに対して、いくらかの嫉妬心はあっても当然かもしれません。しかし、洗者ヨハネは自分よりイエスの方に人が集まっていくことを妬むどころか、人々を自分のもとに引き止めておくことより、イエスのもとに導き、自分よりイエスが尊ばれることを心から喜んだのでした。

私達も、仕事場などで新しく若くて優秀な人物が出現すると、今まで頑張ってきた人も、その新しい人に嫉妬したり、時にはその人の足を引っばるようなことが残念ながら起こることがあります。しかし、大事なものは、己を謙虚にして、優秀な新しい人に教えを乞うことだと私は思います。優秀な新しい人が入って来た時、今まで頑張って

きた人達の心やプライドを傷つけることなく、今まで頑張ってきた人達にも、新しい人の知力やスキルを学ばせて、さらなる高みに登らせるのも、会社などの経営者の責任だと思います。

最澄や洗者ヨハネのように、自分より後からやって来た優秀な人物を認め、人と比べて自分をみじめにするのではなく、人を讃えて、自分の喜びを豊かにすること、それが本当に大切なことのように思います。

■幹事報告<文書案内>

*鹿児島令和ロータリークラブ

国際ロータリー正式加盟報告
例会日 第2・第4月曜日
第2、12:30~13:30
第4 19:00~

例会場 ホテルパレスイン鹿児島
ビジター料 2,000円

認証状伝達式2019年6月16日

会場 鹿児島東急REI ホテル
式典 13:30~ 祝賀会 16:30~19:00

登録料 10,000円

*佐土原ロータリークラブより6月の例会案内

幹事 橋口 清和 君



■BOX披露

親睦活動委員 高橋 康朗 君

<ニコニコ・財団・米山BOX>

【坂田師通君】吉田憲市君卓話を
宜しく願います。

【藤本範行君】来週の木曜日から
鹿児島、成田経由でRI 国際
大会ハンブルク大会に向か
います。 オランダのアム
ステルダムから6月4日
の夜に帰国します。



■出席報告

出席委員 河原 好秋 君

(5/23)

正 会 員 総 数	41 名
出 席 会 員 数	33 名
ホ ー ム 出 席 率	82.50%
修 正 出 席 率	85.00%



地区研修協議会報告
会長エレクト青木善明君



地区研修協議会報告
藤本範行君

☆新会員卓話

吉田 憲市 君

私は、昭和19年7月現延岡市北方町の農家5人兄弟の4番目として生を受け、現在に至っております。

幼少の頃から動物が好きで将来牛関係の仕事をしたいと思って居りました。中学生の頃から獣医さんのバイクに乗せてもらい診療の手伝いをしておりました。

中学卒業後県立高原種畜場の修練生として畜産の道へと進み出しました。習練生は16名で、8人くらいは高卒、残りは中学卒と一緒に寮生活、実習、講義を受ける毎日でした。期末ごとに試験があり高校卒にはなかなか勝つことが出来ず悔しい思い中学卒業生に声をかけ高原畜産、高鍋農高を受験し、4人が合格することが出来、私は高鍋農高畜産科に入学、身体は小さく出席番号は40人中40番、いつも出席番号は自分で終わり淋しく感じておりました。当時今のような宿舎はなく3年間下宿生活、父や姉妹からの仕送りで卒業することが出来ました。

高校卒業後畜産技術員になるため岡山県立岡山和牛試験場で専門的に牛の事を習得し、昭和40年4月新富農協に入組し、畜産技術員として農家指導に当たりました。当時新富町内には繁殖農家は780戸、酪農家120戸、養豚農家100戸位ほとんどの農家2~3頭の小規模な複合経営でした。昭和43年頃より農協有牛の貸し付けが始まり年間200頭位導入し、徐々に専業へと進んできました。当時、新富町の牛は評価が低く、品評会で上位入賞は出来ませんでした。毎年地区ごとに普及所の方と牛の研修会を実施しながらレベルアップに努めました。

牛の縁で昭和42年12月に結婚し、牛飼いをしながら3人の子供を育てることが出来、子供達はそれぞれ家庭を築き子育て、仕事に尽力しております。平成22年の口蹄疫で我が家の家族である48頭の牛を失いました。口蹄疫終息後、牛飼いを始め、現在16頭の牛を飼っております。

現在新富町の議会議員として町民主役を念頭に置き、町民の豊かさを求め頑張っております。

我が人生は牛と人があっての人生、牛がいなかったら今の自分はなかったと思います。現在の自分があるのは何があってもそばで支えてくれた最愛の連れ合いのおかげだと思って居ります。これから先も目標を持って多くの人達の知恵を借りながら前に進みたいと思います。

ロータリークラブの諸先輩と巡り逢えたのも人の縁だと思って居ります。笑顔、元気、安心、支えあい、助け合いの精神で頑張りたいと思います。

